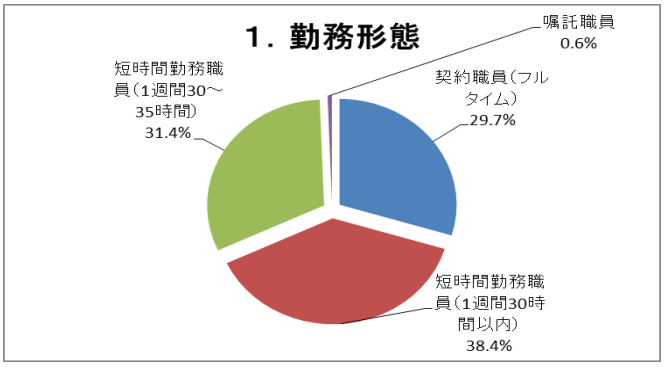
2018 年 2 月 27 日

非常勤職員アンケート（2018 年）報告

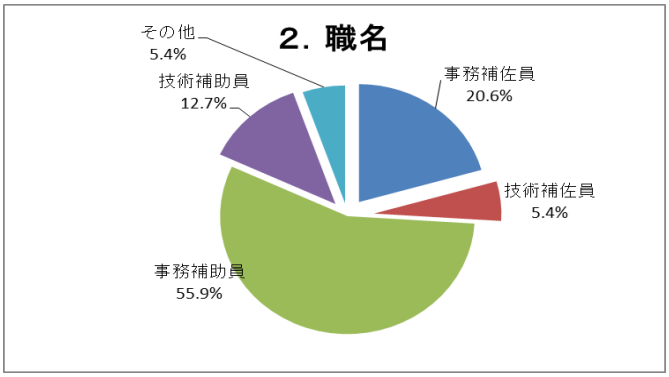
実施対象：北海道大学札幌キャンパスの非常勤職員（約 900 名）＋拡散あり
　　非常勤教員（特定専門職員など）、病院職員は除く
方法：『職員録』（平成 29 年度）に記載されている非常勤職員に学内便で個別郵送し、
　　教育学研究院・駒川宛てに学内便での郵送回収
実施時期：1 月中旬
回収数：359 通（2 月 23 日時点）→回収率 39.9%（900 通配布として）

Ｑ１：勤務形態



※フルタイムの契約職員 3 割、短時間勤務 7 割

Ｑ２：職名

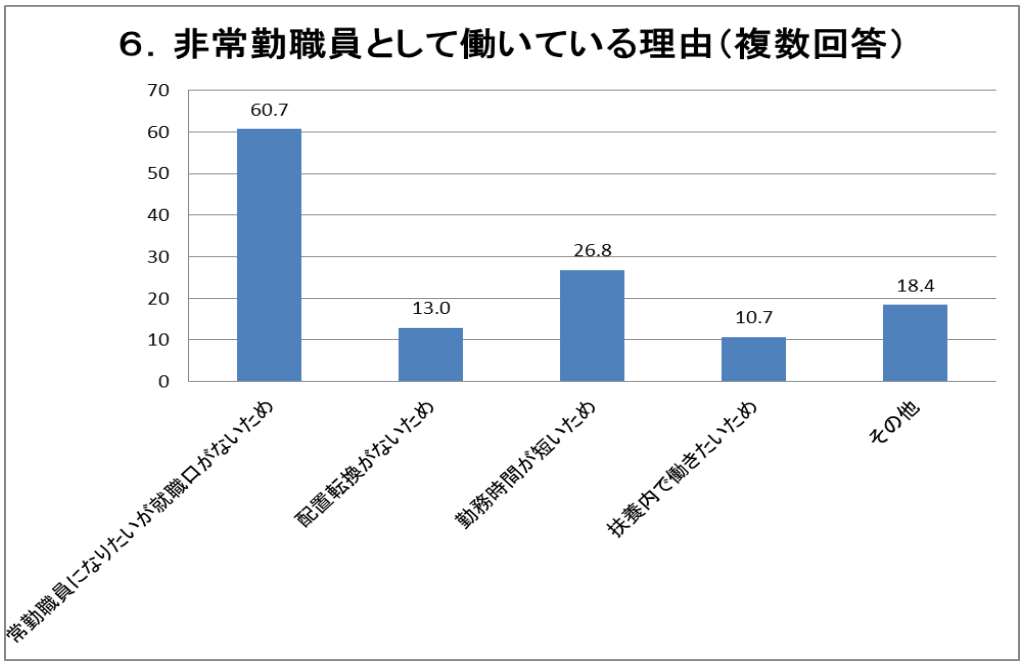


※事務系が 76.5%

Ｑ５：雇用期限の有無

1. **ついている：90.1%**
2. ついていない：1.1%
3. その他：1.7%

Ｑ６：非常勤職員として働いている理由（複数回答）



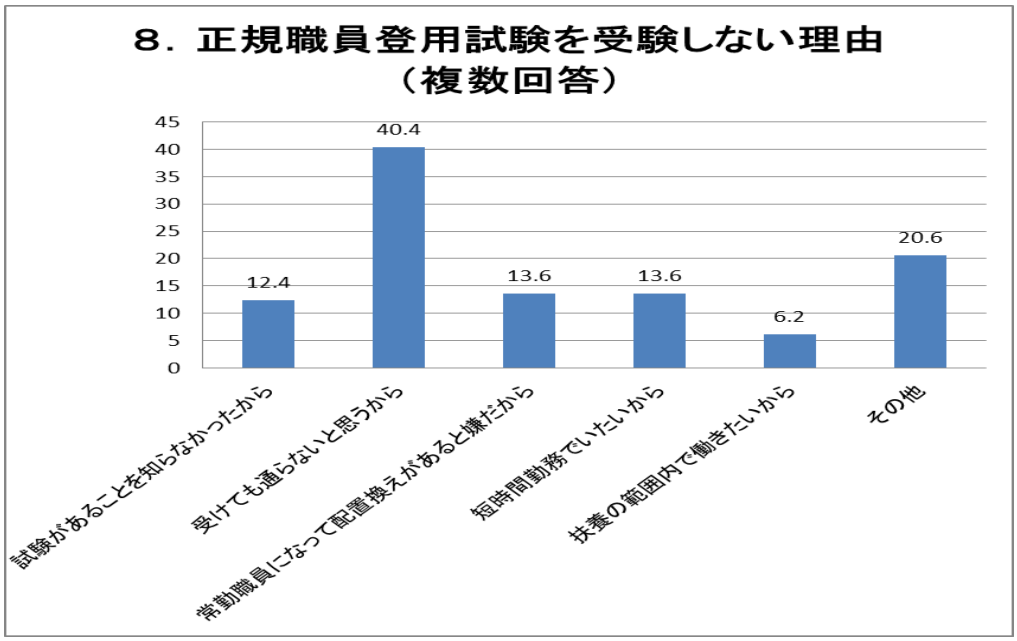
※常勤の就職先がないのが最大理由、勤務時間の短さから選ぶ人も約３割

Ｑ７：正規職員登用試験の受験の有無

1.　ある：19.5%

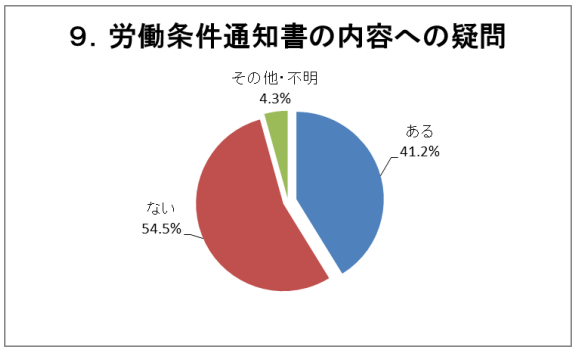
2.　ない：79.9%

Ｑ８：正規職員登用試験を受験しない理由（複数回答）



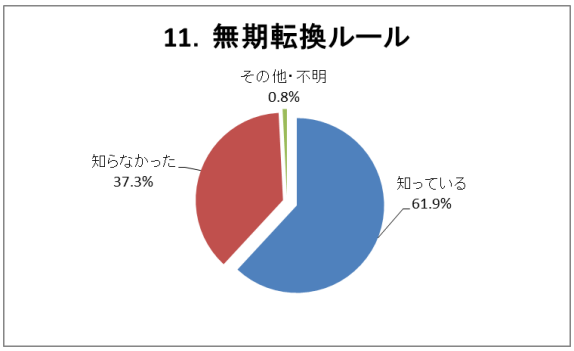
※受けても通らないという諦めに加え、常勤職員とは異なる働き方の希望者が一定数存在

Ｑ９：労働条件通知書の内容への疑問の有無



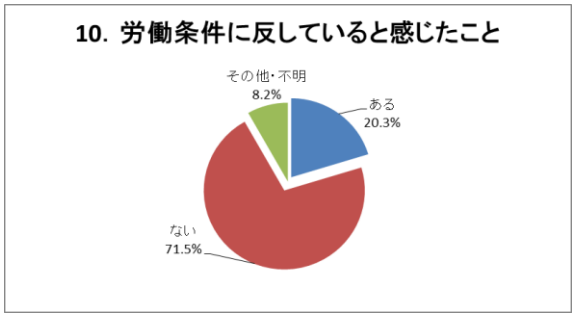
※労働条件通知書の内容に疑問がある人は 4 割強、具体的な書き込みも多い

Ｑ11：無期転換ルール



※無期転換ルールを「知らなかった」が 4 割弱。十分に周知されていない。

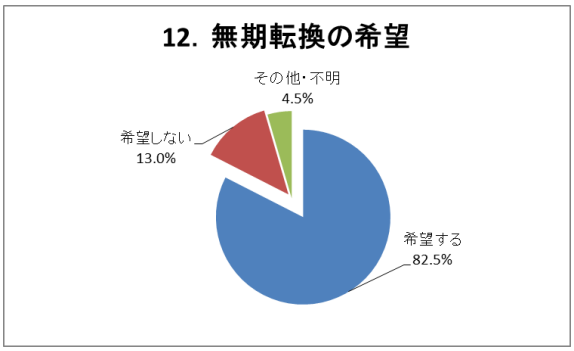
Ｑ10：労働条件に反していると感じたことの有無



ある：残業代が出ない、交通費の支給制限、雇用形態に比べ責任が重いなど

※早出を含めた残業代の不払いが多い、多い人は年 200 時間の不払い残業

Ｑ12：無期転換の希望の有無



希望しない理由：正規の仕事を希望、雇用条件等に不満、引っ越しや転勤の可能性等

※無期転換の希望者は 8 割以上！

Ｑ14：改善してほしいこと、組合への質問・意見・要望（一部抜粋）

・双方が 5 年間使い捨て感覚が常にどこかにあるので，信頼関係を築きにくく，モチベーションも上がらない。何とかして欲しい。

・無期雇用となり不安のない生活が送れるよう強く希望する。予算不足で無期転換しないのは理由にならない。昇給もないので予算に影響しないのではないか。実際非正規の方が戦力になっている部署もある。期限が来てまた新たに雇用する方が無駄ではないか。

・北大の 5 年ルールを廃止し，非正規でも安心して働き続けられるようになってほしい。また短時間でもボーナスや他手当を支給してもらいたい。

・正職員とほぼ同内容の仕事をしていて，待遇（福利厚生，賞与）に差があるのは不満。

・プロジェクト社員なので仕事がなくなったら諦めなければならない。他の部署に空きがあれば面談を受けられたら良い。

・研究室勤務で上司は教授である。「予算がないのでいつ辞めてもらってもいい」と笑いながら言われた。教員は人を雇っているという感覚が大変薄いように感じる。

・同じ非常勤でも 5 年を超えて勤務している人や 6 か月あけて復帰している人がいるのは不公平だと思う。ダミーの求人が多数出ていて真面目に応募するのがバカらしい。
・4 月から開始されるのであれば 3 月終了の方が沢山いるので，もっと早く啓発をして欲しかった。もう 5 年になるので。6 ヶ月経ったらまた来てくださいと言われているが，先のことは分からないので。

==========

□アンケートの結果概要

回答者は、事務系職員が 8 割弱、技術系職員が 2 割です。勤務形態は、フルタイムの契約職員が 3 割、短時間勤務職員が 7 割（内、1 週間の労働時間が 30 時間以内の人が 4 割）です。雇用期限が設定されている人は 9 割にのぼります。

非常勤職員として働いている理由を複数回答で尋ねたところ、「常勤職員になりたいが就職口がないため」が 60.7%で最大理由となっています。加えて、「勤務時間が短いため」26.8%、「扶養内で働きたいため」10.7%となり、時間や収入を限定して働きたい人も一定数います。正規職員の登用試験を受験したことのある人は 19.5%で、大多数の人が受験していません。その理由を複数回答で尋ねたところ、最大理由は「受けても通らないと思うから」で 40.4%です。この他、「常勤職員になって配置換えがあると嫌だから」13.6%、「短時間勤務でいたいから」13.6%、「扶養の範囲内で働きたいから」6.2%というように、短時間の非常勤職員を希望する人が一定数存在します。これは先の非常勤職員として働いている理由とも整合します。年末の総長会見で、総長は無期転換を行わない理由に正規登用試験を実施していることをあげ、試験に合格して正規職員になれば良いという見解を示しましたが、誰もが正規職員になりたいわけではないことがわかります。

次に労働条件について見ますと、労働条件通知書の内容に疑問を感じている人が 4 割以上で、具体的な書き込みが多く見られます。労働条件に反していると感じたことが「ある」人は約 2 割で、早出や就業時間後を含めた残業代の不払いに関する書き込みが目立ちます。なかには 1 年に 200 時間の不払い残業があったとの記載もあります。他には、交通費の支給が制限されている、雇用形態に比べて責任が重いことなどがあげられます。

無期転換ルールについては「知らなかった」が 37.3%で、十分に周知されていないと言えます。回答者の内、無期転換を希望する人は 82.5%に達します。無期転換を希望しない人は、正規の仕事を希望する人、仕事内容・雇用条件・職場環境などに問題があって今の職場では働き続けたくない人、引っ越しや転勤の可能性があって仕事を辞める可能性がある人が多いです。

改善してほしいこと、組合への質問・意見・要望も多数寄せられています。この場をお借りしてご協力いただきましたことに御礼申し上げますとともに、皆さまの声にお応えしてゆきたく思います。